東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所

平成28年度 パフォーマンス向上会議不適合報告情報(平成29年 3月30日(木)分)

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

平成29年 3月30日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

 区分 I:
 該当なし

 区分 II:
 該当なし

 区分 II:
 該当なし

 その他:
 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1		所内低圧電源設備配電盤(モーターコントロールセンター)3SB-1(10F)において、ユニット 内電磁接触器付近より異音(ジー音)が認められたため、当該電磁接触器を交換。	GⅢ	
2	3号機	サブドレン排水ポンプ(原子炉建屋北東側)出口配管継手部において、塩ビ系接続ボルト8本中2本に折損及び継手部からの排水漏えい(地下水)が認められたため、当該接続ボルトを鋼製へ交換。	GⅢ	
3	4号機	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備清水加熱器ポンプ点検作業において、作業実施ルールの不遵守(予定外の火気使用作業の実施及び工具管理の不備)が認められたため、 当該原因調査・対策検討。	GⅢ	
4	その他	固体廃棄物貯蔵庫出入り管理室空調の防火ダンパー点検において、全8台中1台にヒューズ (火災時にダンパーを閉動作する器具)の未取付け及びダンパーが閉まらない処置がされてい ることが認められたため、当該原因調査・対策検討。 なお、応急処置として当該ダンパーを 全閉にした。	сш	